

Chapter

02

STUDY PLAN-14B 入学生

01.履修申請	025
02.成績表の見方	030
03.卒業要件単位数(外国人留学生も共通)	031
04.ゼミナール、テーマ別研究、単位認定科目	033
05.卒業見込証明書	034
06.資格取得	035
07.カリキュラム	036

大学ではあらかじめ決められた時間割表のとおり授業を受けるのではなく、全科目の時間割表に載っている科目の中から自分が受けた科目を選び、自分の作った時間割表にもとづき授業を受けます。

ここからは、実際にどのような感じで履修申請をしていけばよいかの目安を簡単に説明します(あくまでも目安ですので、必ずこの通りに申請しないといけないわけではありません)。

(1) 経営学コース1年次における履修申請について

■あらかじめ履修申請されている科目の確認

- ・必修科目と全員履修科目は、あらかじめ履修申請が行われています。
- ・1年次の必修科目は、経営学基礎(2単位)、会計学基礎(2単位)の2科目4単位です。
- ・1年次の全員履修科目は、専門教育科目の入門ゼミナール(2単位)、初級簿記(4単位)と総合教育科目のコンピュータ・リテラシ(2単位)、表現力基礎演習(2単位)の4科目10単位です。
- ・したがって、1年間の履修制限48単位のうち上記14単位分は申請済みとなりますので、残り34単位分の科目を選択し履修申請をします。
- ・留学生は日本語や日本文化に関連する科目が必修です。1年次には日本語科目4科目4単位、日本文化科目4科目8単位が用意されています。したがって1年次には残り22単位分を選択し履修申請しましょう。

【全員履修科目に関する注意事項】

- ①全員履修科目は選択科目ですので不合格になっても卒業はできますが、全員に受講してもらいたい重要な科目ですのでしっかりと講義を受けてください。
- ②コンピュータ・リテラシと表現力基礎演習は1年次にしか受講することができません。特にコンピュータ・リテラシは一般的なPCの操作法だけでなく、本学のPC演習室を利用する際の注意事項や、本学が提供する様々なサービスの利用法なども学びます。2年次以降はコンピュータ・リテラシの内容を学んだことを前提にコンピュータを利用しますので必ず受講してください。

■総合教育科目の履修申請

- ・1年次は総合教育科目を多く申請するようにしましょう。
- ・卒業までに言語文化科目を8単位以上修得しなければなりません。1年次のうちに4単位以上修得するようにしましょう。
- ・総合教育科目は卒業までに24単位以上修得しなければなりません。語学の選択必修8単位以外に、あと16単位以上修得することが必要です。
- ・1年次では、コンピュータ・リテラシと表現力基礎演習の4単位分は申請済みですので、それ以外の科目であと8単位以上申請しておけばよいでしょう。

【言語文化科目の注意事項】

- ①基本的に1科目につき1単位ですので、8単位以上をクリアするには8科目以上合格しなければなりません。1年次のうちにある程度単位をとっておかないと、2年次、3年次になって専門教育科目を選択するのが難しくなります。1年次では4単位以上を目標にしましょう。
- ②クラス登録制になっていますが、一度登録されたクラスは変更したり取り消したりできませんので慎重に申請してください。
- ③その他の制限事項は、卒業要件単位数の項目数をよく読んでください。

■専門教育科目の履修申請

- ・次に専門教育科目ですが、1年次ではビジネススキル科目に注目します。
- ・ビジネススキル科目は資格取得を目標とする科目です。これらの科目を受講することで将来に向けて興味のある分野が見えてくるでしょう。1年次では同一分野の科目より、いろいろな分野の科目にチャレンジすることをお勧めします。1年次では8単位程度を目安にすればよいでしょう。
- ・その他の専門科目の中から興味のある科目を選びます(4～8単位程度)。Webシラバスを活用し、科目の内容を確認した上で選択しましょう。

【1年次の履修申請のチェックポイント】

ここまでの説明で推奨する申請単位は、以下の38～46単位分になります。

- ①必修科目・全員履修科目＝14単位
 - ②言語科目＝4単位
 - ③その他の総合教育科目＝8～12単位
 - ④その他の専門教育科目＝12～16単位
- ・必ず40単位以上、できれば48単位を申請するようにしましょう。
 - ・Webシラバスを活用し、各科目がどのような内容なのかを調べて選択しましょう。
 - ・入門ゼミナールの第1、2回目の授業のときに、みなさんの履修申請状況を担当の教員がチェックします。各自の時間割表を印刷して出席してください。分からないことなどはその時に聞きましょう。
 - ・本館1階の教務課にも相談するとよいでしょう。

(2) 経営学コース2年次以降の履修申請について

- ・2年次からは専門教育科目の多くが履修できるようになります。
- ・研究ゼミナール2(3年次・4単位)、卒業論文ゼミナール(4年次・4単位)は、2年次の研究ゼミナール1に合格しておかないと履修することができません。
- ・研究ゼミナール1、2、卒業論文ゼミナールは、1年間の履修制限48単位には含まれません。

■あらかじめ履修申請されている科目の確認

- ・2年次以降は、あらかじめ履修申請が済んでいる科目はありません。(留学生向け科目を除く)

■総合教育科目の履修

総合教育科目ですが、2年次には、1年次の履修では卒業要件をみたせなかった科目をクリアするようにしましょう。できるだけ2年次で総合教育科目の24単位(言語文化科目8単位と教養教育科目を合わせて)を修得しておきましょう。

3年次以降は、専門科目の単位修得状況を見ながら、レベルの高い外国語科目や興味のある科目を履修するとよいでしょう。

■専門教育科目の履修

- ・経営関連科目において、選択必修として特定の科目のうちから4単位を修得しなければなりません。それ以外の専門教育科目については、特に選択必修の制限はありません。
- ・興味のある分野から重点的に履修しても、多くの分野の科目を幅広く選択してもかまいません。しかし、卒業するためには複数分野の科目の単位を修得しないと、卒業要件単位数をみたすことは不可能です。2年次の段階では、興味のある分野をより確かなものにするためにも、多くの分野の科目を受講することをお勧めします。
- ・キャリアスキル科目は、就職することの意義や就職活動の際に必要な知識、考え方、心構えなどを学び、将来への就職意識を高めるための科目群です。科目の性質上、定員が設定されていますが、積極的に受講しましょう。
- ・万一1年次に単位を修得できなかった必修科目や選択必修科目がある場合、2年次で必ず単位を修得するのがポイントです。

ここまで、経営学コース1、2年次の場合を中心に説明してきましたが、1、2年の間に以下のポイントをクリアすることを目標にがんばりましょう。

【1、2年次のクリア目標】

- ①必修科目4単位の修得。
 - ②専門教育科目での選択必修科目4単位の修得。
 - ③言語文化科目8単位を含む総合教育科目24単位の修得（留学生は、日本語科目および日本文化科目16単位を含む24単位）。
 - ④①～③条件をクリアした上で合計76単位以上を修得。
- ・3年次後期には就職活動の準備が活発となり、大学での勉強と就職活動の準備を両立させることが大変になってきます。
 - ・4年次になったときに卒業要件単位を修得できていないと、講義に出席するか就職活動に行くかを悩むことになります。
 - ・就職活動のために講義を休みがちで不合格になり、その単位が不足したために留年することもあります。
 - ・そのような事態を避けるためにも、2年次までに修得できる単位はしっかり修得してください。必修や選択必修など制限のある科目は4年次に残さないようにして、余裕を持って就職活動にのぞめるようにしましょう。

(3) ファッションビジネスコースの履修申請

- ・ファッションビジネスコースの皆さんは必修科目が多くなっています。単位取得にがんばって取り組んでください。
- ・各配当年次に不合格になると、翌年度以降に再履修することとなります。講義科目が増え、非常に厳しくなっていますので、配当年次にしっかりと勉強し確実に単位を修得できるようにしましょう。

01. 履修申請

- ・「履修申請」とは、自分が受けたい授業科目を申込むことです。
- ・「履修申請」は、本年度の学習方針を決定するだけでなく、次年度以降の履修にも影響しますので、履修制限等をよく読んで上で、自分の時間割の計画を立てて申請してください。
- ・大学では必修科目等を除いて、一定の枠の中から受けたい科目を選択できるようになっています。
- ・申請期限までに所定の手続きを行わなかったり、間違ったりすると、授業に出席して、試験を受けても単位が認められませんので、慎重に行ってください。
- ・申請の手順については、別に配布するWeb履修申請ガイドブックをご覧ください。

(1) 履修計画における注意点

- ①履修する科目を選ぶために、事前に「Webシラバス」をよく読んでください。
- ②各時間帯に開講されている授業科目の中から自分が受けたい科目を選び、選んだ科目を各自で履修申請してください。学生1人1人の時間割の内容は、同じ学部・学科であっても違ったものになります。
- ③同じ学部・学科でも、コースによって選択すべき科目が異なります。各コースの履修要件、卒業要件をよく読んで履修計画を立ててください。
- ④卒業資格最低単位数(卒業要件単位数)を充足できるよう重点をおいてください。
- ⑤申請する前に、学籍番号などによって指定されているクラス、入門ゼミナール、演習等のクラスを確認してください。
- ⑥各ガイダンスには必ず参加してください。
- ⑦既に単位認定を受けた科目を、再度履修することはできません。

(2) 手続方法

① 履修計画を立てる

配付資料に基づき履修計画を立て、Web履修申請ガイドブック巻末にある「時間割下書き用紙」に記入します。また、履修したい講義がクラス登録科目である場合には、同じく巻末にある「クラス登録応募下書き用紙」に記入します。講義科目の中には、学籍番号や学年により履修が制限されているもの、履修する講義が予め指定されているもの、抽選により履修者を決定するもの、プレースメントテストの結果により履修指示が為されるもの等、さまざまなタイプがあります。これらの情報は、講義時間割の備考欄等に記載されています。

② 登録手続き（3つの期間（順序）に分けて行う）

a. クラス登録科目応募

抽選により履修者を決定するタイプの科目は、履修申請に先立ち応募受付を行い、抽選処理を行います。抽選の結果、当選した場合に限り履修することができます。なお、当選した講義（クラス）は履修を取り消すことができません。詳細は、巻末の「クラス登録応募下書き用紙」をご覧ください。

b. 本申請

履修計画（下書きした時間割）に基づいて、コンピュータを操作し講義を登録してください。申請画面を開くと履修可能な講義が表示されています。（内容は学生ごとに異なります。）同時に、抽選により受講を許可された講義と既決履修講義が表示されています。これらの講義は、取り消すことができません。なお、期間内なら何度でも登録内容を変更することができます。登録が完了したら内容を印刷し、保管しておいてください。

c. 修正

登録した講義を修正（追加、削除）することができます。但し、抽選により履修が決定した講義、既決履修講義は取消できません。修正が完了したら、必ず登録内容を印刷してください。

【クラス登録の要領について】

- ・講義時間割の科目名左側に「●」「○」「◎」印がある講義の履修を希望する場合は、本申請に先立ちクラス登録が必要です。
- ・クラス登録は、応募受付⇒抽選⇒発表（本申請時には、当選した科目が画面に自動表示されています。）の順で行われます。
- ・当選した講義はキャンセルすることができません。また、はずれた方は、本申請期間または修正期間に残席がある場合に限り先着順で登録できます。

③ 言語文化科目

- ・担当教員は、後日掲示でお知らせします。決定した担当教員のクラスで履修申請をしてください。
- ・TOEICクラスの受講は、事前に実施した学力テストの基準に達した学生に限りです。
- ・第1希望にもれた場合は、同一曜日・時限の別のクラスに割当てられることがあります。
- ・新入生の英語については、プレースメントテストの結果発表に従って履修申請してください。

④ 身体科学科目

- ・再履修者は、再クラスでの登録となります。
- ・リハビリコースクラスは、怪我などで運動に制限がある学生が対象となります。
- ・体育研究室からの注意事項は次の通りです。

〈体育研究室からのお願い〉

受講時の注意

- ① 出欠席を厳しくとります。身体科学科目が半期科目（前期で終了または後期で終了）の場合は、半年に3回までの欠席は認めますが、4回以上欠席した学生は不合格となり単位は認定されません。
- ② 「スポーツ科学」や「運動科学」は、講義日の3/4以上の出席が必要です。
- ③ 「スポーツ科学実習」について
 - ・服装は、運動服であれば高校で使用したもので差し支えありません。
 - ・運動服には、白い布に学籍番号と氏名を書いて左腕と右尻に縫い付けてください。
 - ・体育館内のコースを受講する学生は、運動靴に赤線を入れて室内専用に使ってください。
 - ・テニスコースを受講する学生は、テニスシューズを使用してください。
 - ・ロッカー使用の場合には、各自指定番号の鍵を使用し、授業時間ごとに借り出し、授業終了後ただちに返却してください。
- ④ 本科目の受講の指示は掲示で行いますから、体育館の掲示板を見るよう心掛けてください。
- ⑤ 前・後期両方とも同じ種目を取らないようにしてください。ただし、抽選で前・後期とも同じ種目になった場合は受講してください。
- ⑥ 「ボウリング」、「ゴルフ」については、ゲーム代等別途費用がかかります。

(3) 自由科目

他学部(自分の所属する学部以外)および他学科(自分の所属する学科以外)の専門教育科目、(人間環境学部は展開科目)を、卒業までに30単位まで履修することができます。そのうち12単位までを、専門教育科目の選択科目として、卒業要件単位に算入することができます。(これを「自由科目」と称します。)ただし、履修の認められない科目がありますので、下表で確認してください。

自由科目を履修したい人は、Webシラバスをよく読んで選択してください。

自由科目は、Web履修申請面で確認できる(表示されている)科目から選択してください。

経営学科

他学部	他学科	卒業要件に認められる単位	自由科目として扱わない科目
人間環境	文化コミュニケーション、生活環境、スポーツ健康	12単位	製図、演習、実験、実習、卒業研究 ※その他各学科の事情等により除外する科目
—	商		
経済	経済、国際経済		
デザイン工	情報システム、建築・環境デザイン		
工	機械工、交通機械工、都市創造工、電子情報通信工		

(4) 履修制限

経営学科には以下の制限がありますので、注意してください。

14B学生に適用		
1年間に履修できる単位数	最大48単位 ただし、以下の科目は除きます。 ①「研究ゼミナール1」、「研究ゼミナール2」、「卒業論文ゼミナール」 ②教員免許取得に係わる科目のうち、「教科に関する科目」の「職業指導」、 ならびに「教職に関する科目」および「教科又は教職に関する科目」※	
学年による科目の制限	1年次:1年次配当科目を履修することができます。 2年次:1、2年次配当科目を履修することができます。 3年次:1～3年次配当科目を履修することができます。 4年次:すべての開講科目を履修することができます。	
総合教育科目	教養教育科目	<ul style="list-style-type: none"> ■「コンピュータ・リテラシ」および「表現力基礎演習」は全員履修科目のため、初年度に必ず履修してください。ただし、留学生は「表現力基礎演習」を履修しなくてもかまいません。 ■留学生は、「日本事情1・2」、「日本の社会と文化1・2」を必修科目とします。
	言語文化科目	<ul style="list-style-type: none"> ■初修外国語(独・仏・中・朝)を履修する場合は、最初に必ず「入門(基礎)1・2」を履修してください。(中上級科目との同時履修可) ■英語については、プレイスメントテストの結果により、初年度のみ習熟度別クラスに登録されます。履修を希望しない学生は、プレイスメントテストを受けてはいけません。留学生に英語プレイスメントテストは実施しません。 ■留学生は、「日本語読解1・2」「日本語作文1・2」、「上級日本語読解1・2」、「上級日本語作文1・2」の8単位を必修とし、母国語を履修することはできません。
専門教育科目	ゼミナール科目	<ul style="list-style-type: none"> ■「入門ゼミナール」、「研究ゼミナール1」(経営学コースは除く)は全員履修科目のため、配当年次に必ず履修してください。 ■「卒業論文ゼミナール」を履修するためには「研究ゼミナール2」を、「研究ゼミナール2」を履修するためには「研究ゼミナール1」を修得しておかなければなりません。 ■「研究ゼミナール1」、「研究ゼミナール2」および「卒業論文ゼミナール」は、同一教員で履修しなければなりません。
	コース特設科目	<ul style="list-style-type: none"> ■コースの特設科目群については、それぞれに対応したコースでしか履修することができません。(一部例外があります。)
その他		既に単位認定を受けた科目を、再度履修することはできません。

※詳しい科目については教職課程履修ガイドブックを参照してください。

02. 成績表の見方

- ・発表される「成績表」は、当該年度の前期末または学年末までの成績です。
- ・単位左側の文字の「必」は必修科目、「選必」は選択必修科目、「選」は選択科目を表わします。
- ・成績欄右寄りの評価は「今年度の成績」、中央の評価は「昨年度までの成績」を表わします。
- ・評価・認定は、「S」「A」「B」「C」「D」「T」で判定します。

修得単位数欄

卒業要件単位数	卒業に必要な単位数
修得卒業要件単位数	現在修得している全ての単位のうち卒業要件としてカウントされた単位数
修得総単位数	現在修得している全ての単位数

進級・卒業判定欄

1年次	2年次	3年次	4年次	卒業	4留
1年	2年	3年	4年	卒業できる	卒業延期

来年度欄(3年生以上)

卒見証発行	有	無
	卒業見込証明書発行可	卒業見込証明書発行不可

履修制限メッセージ

S1	来年度「研究ゼミナール2」を履修することができません
S2	来年度「卒業論文ゼミナール」を履修することができません

03. 卒業要件単位数（外国人留学生も共通）

卒業するためには、以下の2つの条件を満たさなければなりません。

①4年間（編入生は2年間）以上在学

休学期間は在学年数に含まれません。したがって、半期でも休学すると4年（編入生は2年）で卒業することができません。

②学科で定められた卒業要件単位数124単位以上（編入生は別途定める）を修得

カリキュラム上、区分ごとに卒業に必要な単位数が異なります。履修の仕方によっては単位を修得しても卒業要件単位に入らない場合がありますので、注意してください。

(1) 卒業要件単位数

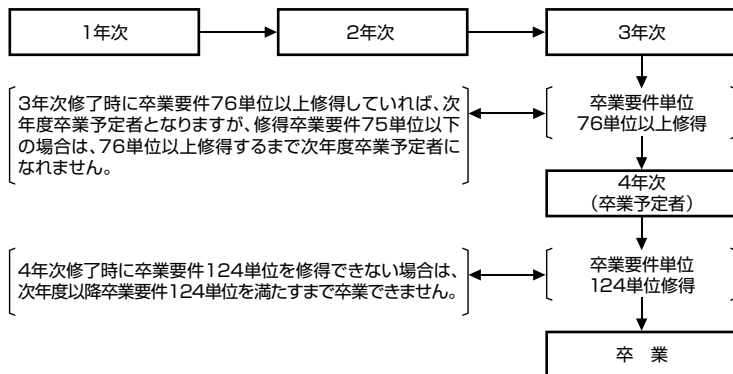
総合教育 科目	教養教育科目	リテラシ		24単位 以上	124 単位	学士(経営学)
		人文科学				
		社会科学				
		自然科学				
		学際領域				
		日本文化	8単位(留学生のみ)			
	人間教育					
言語文化科目	英語		8単位以上			
	初修外国語					
	日本語	8単位(留学生のみ)				
身体科 学科目						
専門教育 科目	経営学コース	必修4単位、選択必修4単位、選択76単位以上(自由科目12単位を含む)		84単位 以上		
	ファッションビジネスコース	必修12単位、選択72単位以上(自由科目12単位を含む)				
4年以上在学						

(2) 進級の条件

修得単位数にかかわらず、4年次まで進級できますが、年間48単位（研究ゼミナール1・2、卒業論文ゼミナール、教職科目等を除く。）を上限とする履修制限がありますので、計画的に修学してください。

なお、進級するためには、1年を通じて在学していなければなりません。

— 進級および卒業までの流れ —



(3) 卒業要件単位の履修要件

【総合教育科目】24単位以上

- ①必修科目(卒業するまでに必ず修得します。カリキュラム表の単位数に○印のついた科目です。)
- 留学生以外の学生に必修科目はありません。留学生は、教養教育科目分野の日本文化科目群「日本事情1」、「日本事情2」、「日本の社会と文化1」、「日本の社会と文化2」4科目8単位、言語文化科目分野の日本語科目群「日本語読解1」、「日本語読解2」、「日本語作文1」、「日本語作文2」、「上級日本語読解1」、「上級日本語読解2」、「上級日本語作文1」、「上級日本語作文2」8科目8単位を必ず修得してください。
- ②選択必修科目(特定の科目群から指定された単位を修得します。)
- 言語文化科目分野から、8単位を修得します。複数の言語も卒業要件単位に入りますが、初修外国語は最初必ず「入門(基礎)1および2」を履修しなければなりません。留学生は、履修しなくてもかまいません。
- ③選択科目(必修、選択必修科目以外の中から自由に選んで修得します。)
- ①②以外に、16単位以上(留学生は8単位以上)を修得してください。制限により履修できない科目もあります。

【専門教育科目】84単位以上

—経営学コース—

- ①必修科目(卒業するまでに必ず修得します。カリキュラム表の履修コース欄に○印のついた科目です。)
- 専門基礎科目群から「経営学基礎」、「会計学基礎」の2科目4単位を必ず修得してください。
- ②選択必修科目(特定の科目群から指定された単位を修得します。)
- 経営関連科目群6科目から4単位を修得してください。4単位を超えて修得した単位は、選択科目の単位に入ります。
- ③選択科目(必修、選択必修科目以外の中から自由に選んで修得します。)
- ①②以外に、76単位以上を修得してください。

—ファッションビジネスコース—

- ①必修科目(卒業するまでに必ず修得します。カリキュラム表の履修コース欄に○印のついた科目です。)
- 専門基礎科目群から「経営学基礎」、「会計学基礎」の2科目4単位を、テーマ別研究科目群から1科目2単位を、ファッションビジネスコース特設科目群から全3科目6単位、計12単位を必ず修得してください。
- ②選択科目(必修科目以外の中から自由に選んで修得します。)
- ①以外に、72単位以上を修得してください。

※総合教育科目(24単位以上)、専門教育科目(84単位以上)の最低要件単位は合計108単位です。卒業要件124単位に不足する16単位については、各区分の最低要件単位数を超えた単位で補ってください。

04. ゼミナール、テーマ別研究、単位認定科目

(1) ゼミナール科目

- ・経営学科では、ゼミナールという科目（選択科目）を設けています。
- ・ゼミナールは、各自が関心や興味を持ち、より深く研究したいと思う専門分野について、指導教員やゼミ仲間とともに研究する科目です。
- ・少人数で構成されるため、講義科目に比べて発展的な研究を行ったり、親密な人間関係が形成できたりします。
- ・また、ゼミナールを通じた勉強や卒業論文の作成は、大学生活において特色のある取り組みを行っているとして、就職活動や進学の場面で役立つことがあります。
- ・ゼミナールの所属決定は、各自の志望理由や成績等を考慮した上で、担当教員が行います（募集については掲示等で案内します）。
- ・ゼミナールを志望する学生は、所定の方法・期限を守り申込みを行ってください。

科目名	配当年次	必/選	備考
入門ゼミナール	1年次	選 択	全員履修※1
研究ゼミナール1	2年次	選 択	全員履修※1（経営学コースは除く）
研究ゼミナール2	3年次	選 択	「研究ゼミナール1」を修得していなければ、履修することができません。※2
卒業論文ゼミナール	4年次	選 択	「研究ゼミナール2」を修得していなければ、履修することができません。※2

※1:全員履修科目は、配当年次に履修してください。

※2:「研究ゼミナール1・2」および「卒業論文ゼミナール」は、同一教員で行います。

(2) テーマ別研究科目

- ・経営学特殊講義A～D、会計学特殊講義A～Dの8科目については、不定期に様々なテーマで講義が行われます。
- ・注意しなくてはいけないのは、ある年度に経営学特殊講義Aに合格し単位を修得している場合、他の年度に違うテーマで開講された場合であっても、経営学特殊講義Aを履修することはできません。
- ・修得した単位は、選択科目の単位数として計算されます。
- ・カリキュラム表の配当年次は、すべて1年前期になっていますが、内容によっては履修できる年次に制限を付ける場合があります。
- ・Webシラバス上では、科目名は次のように表示されます。
例:経営学特殊講義Aの場合・・・経営学特殊講義A(実際に行われるテーマ名)
履修するときはテーマ名や内容をシラバスでしっかり確認してください。

(3) 単位認定科目

- ・専門教育科目の中で、「インターンシップ」は、履修申請を必要としない単位認定科目です。
- ・卒業見込み判定の関係上、4年次には単位認定することはできません。
- ・インターンシップは、学科が指定する受入先企業で実際の業務を見聞き、経験するための科目です。指定の期間に所定の手続きを行ってください。
- ・認定された単位は、選択科目の卒業要件単位に加算されます。
- ・手続き方法については、別途学科より案内(掲示)します。

05. 卒業見込証明書

卒業見込証明書の発行条件は、以下のとおりです。

- ・3年次修了時において、卒業要件単位を76単位以上修得している。[4月1日以降発行]

※卒業見込証明書は、就職活動のために訪れる企業などに提出するものです。必要な人は、証明書自動発行機(本館1階、クリスタルテラス)を利用してください。

06. 資格取得

本学を卒業、または特定の科目を修得することによって得られる資格・免許（あるいは一部免除）を一覧表にしましたので、履修コースの選択や履修科目の参考にしてください。また、他にも卒業後の実務経験で得られる資格（要申請）、実務経験により受験資格が得られる資格、受験科目の一部が免除される資格など多数あります。それら資格（免許）の職務内容や取得方法に関しては、教育支援センター（5号館1階）で相談してください。

(1) 教員免許状

免許（資格）の種類	対象学科	取得の要件
高等学校教諭一種免許状（商業）	経営学科	それぞれの免許に定められた教職教科専門科目と教職専門科目を修得した者（詳細は教職ガイダンスで説明します）。

(2) 特定の科目を修得することにより取得できる資格

資格の種類	認定の内容	対象学部	取得の要件
社会保険労務士	受験資格	全学部	卒業要件に必要とする62単位以上修得した者

(3) 本学実施の資格取得試験など

資格の種類	対象学部	取得の要件・その他
日本商工会議所認定簿記検定試験2・3・4級	全学部	試験合格（年3回実施されますが、本学では6月と11月の年2回を学内で実施します。申込方法は、掲示板でお知らせします。）
ガス溶接技能者	全学部	ガス溶接技能講習修了
大阪商工会議所ビジネス会計検定試験2・3級	全学部	試験合格（年2回（9月と3月）、学内で実施します。申込方法は、掲示板でお知らせします。）

07. カリキュラム

(1) 総合教育科目

(単位数を○でかこんだものは必修科目)

区分	科目	単位	最低単位数 卒業資格	週 時 間 数								備 考			
				1年次		2年次		3年次		4年次					
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期				
総合教育科目	リテラシ	コンピュータ・リテラシ	2	24 以上	2								全員履修科目		
		表現力基礎演習	2			2							全員履修科目		
	人文科学	文 学	2		2										
		哲 学	2		2										
		論 理 学	2		2										
		心 理 学	2		2										
		人文科学特殊講義	2		2										
		社会科学特殊講義	2		2										
	社会科学	日本国憲法	2			2									
		現代の政治	2			2									
		近現代史	2			2									
		地 理 学	2			2									
	自然科学	社会科学特殊講義	2			2									
		宇宙科学	2			2									
		環境科学	2			2									
		生命科学	2			2									
		文系のための数学	2			2									
		文系のための統計学	2			2									
	学際領域	自然科学特殊講義	2			2									
		平 和 学	2			2									
時 事 問 題		2		2											
道徳と現代倫理		2		2											
科学技術史		2		2											
学際領域特殊講義		2		2											

※週時間数欄の数字は、2=週1コマ、4=週2コマの授業があることを示します。1年次には1年次の、2年次には1、2年次の、3年次には1、2、3年次の、4年次には1、2、3、4年次の欄に数字のある科目を履修することができます。ただし、履修制限等により履修できない場合もあります。

区分	科目	単位	最低単位数	卒業資格	週 時 間 数				備 考		
					1年次	2年次	3年次	4年次			
					前、後期	前、後期	前、後期	前、後期			
総合 教 育 文 化 科 目	教養教育科目 日本文化	日本事情 1	②	8以上 (24以上)	2				留学生向け科目		
		日本事情 2	②			2			留学生向け科目		
		日本の社会と文化 1	②		2				留学生向け科目		
		日本の社会と文化 2	②			2			留学生向け科目		
		人間教育 生涯学習論	2				2		教職課程科目		
		人権教育	2					2	教職課程科目		
	英 語	英語(Listening&Speaking)1	1		2					(集中)	
		英語(Listening&Speaking)2	1			2					
		英語(Listening&Speaking)3	1				2				
		英語(Listening&Speaking)4	1					2			
		TOEIC上級(Listening)1	1				2				
		TOEIC上級(Listening)2	1					2			
		英語(Reading&Writing)1	1		2						
		英語(Reading&Writing)2	1			2					
		英語(Reading&Writing)3	1				2				
		英語(Reading&Writing)4	1					2			
		TOEIC上級(Reading)1	1				2				
		TOEIC上級(Reading)2	1					2			
		英語総合(上級)1	1						2		
		英語総合(上級)2	1								2
		英語海外研修	2				2	2			
		初 修 外 国 語	ドイツ語入門(基礎)1		1	2					
			ドイツ語入門(基礎)2		1		2				
			ドイツ語入門(会話)1		1	2					
	ドイツ語入門(会話)2		1			2					
	ドイツ語初級1		1				2				
	ドイツ語初級2		1					2			
ドイツ語総合1	1						2				
ドイツ語総合2	1							2			
ドイツ語海外研修	2				2	2					

(単位数を○でかこんだものは必修科目)

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数								備 考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期		
総合 教育 科目	言語 文化 科目 日本語	日本語読解1	①	(8以上) (24以上)	2								留学生向け科目 留学生向け科目 留学生向け科目 留学生向け科目 留学生向け科目 留学生向け科目 留学生向け科目 留学生向け科目 スポーツ科学実習1 スポーツ科学実習2 スポーツ科学 運動科学 小 計
		日本語読解2	①		2								
		日本語作文1	①		2								
		日本語作文2	①		2								
		上級日本語読解1	①			2							
		上級日本語読解2	①				2						
		上級日本語作文1	①				2						
		上級日本語作文2	①					2					
	身体 科学 科目	スポーツ科学実習1	1	2									
		スポーツ科学実習2	1		2								
		スポーツ科学	2			2							
		運動科学	2				2						
		小 計	128	24以上	54	52	34	34	10	10	0	0	

注) 総合教育科目の履修要件

- イ 「表現力基礎演習」は留学生については随意選択科目とする。
- ロ 1年次配当の英語についてはプレイスメントテストを実施し、その結果に基づいて習熟度別にクラスを分ける。
ただし、英語の2年次および3年次配当科目については、この限りではない。
- ハ 初修外国語(ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語)は、複数の言語を卒業要件単位に算入することも可能とする。
ただし、各言語は必ず最初に「入門(基礎)1」および「入門(基礎)2」を履修しなければならない。
- ニ 留学生には「日本文化」の4科目8単位および「日本語」の8科目8単位を必修とする。
なお、留学生は、言語文化科目として母語を履修することは出来ない。
- ホ 留学生には英語のプレイスメントテストを実施しない。

(2) 専門教育科目

(各履修コースの○印は必修科目・-印はコースによって履修できない科目)

区分	科目	単位	履修コース		卒業資格 最低単位数	週 時 間 数				備 考		
			経営学	ファッション・ビジネス		1年次	2年次	3年次	4年次			
						前期 後期	前期 後期	前期 後期	前期 後期			
専 門 教 育 科 目	経営学基礎	2	○	○	ファッション・ビジネスコース 必修4・選択必修4・選択76以上 合計84以上	2				◎		
	会計学基礎	2	○	○		2						
	ゼミナール科目	入門ゼミナール	2				2					全員履修 全員履修 (経営学コース除く)
		研究ゼミナール1	4					2	2			
		研究ゼミナール2	4						2		2	
		卒業論文ゼミナール	4								2	
	ビジネススキル科目	初級簿記	4				2	2				全員履修
		商業簿記A	2				2					
		商業簿記B	2					2				
		販売管理A	4					4				
		販売管理B	4						4			
		ビジネス・コンピューティング	4				4					
		ビジネス・プロトコル	4				2	2				
	キャリアスキル科目	キャリア講座A	4					2	2			
		キャリア講座B	4					2	2			
		キャリアデザインA	2					2				
		キャリアデザインB	2						2			
		インターンシップ	2						2			
	経営関連科目	経営管理論	2					2				
		経営戦略論	2					2				
		経営組織論	2	4以上				2				
		マーケティング論	2						2			
		経営財務論	2						2			
		人的資源管理論	2								2	
		生産管理論	2						2			
		企業論	2								2	
組織行動論		2						2				
非営利組織の経営		2						2				
消費者行動論		2					2					
商品企画論		2						2				
マーケティング戦略論	2						2					

区分	科目	単位	履修コース		卒業資格 最低単位数	週時間数				備考
			経営学	ビジネス英文		1年次	2年次	3年次	4年次	
						前期 後期	前期 後期	前期 後期	前期 後期	
専門教育科目	e コ マ ー ス 論	2						2		編入生全員履修
	経 営 情 報 論	2					2			
	財 務 管 理 論	2						2		
	国 際 経 営 論	2					2			
	経 営 史	2				2				
	情 報 処 理 概 論	2			2					
	経 営 科 学	2				2				
	ビ ジ ネ ス 統 計	2					2			
	デ ー タ 分 析	2					2			
	市 場 調 査	2						2		
	情 報 リ テ ラ シ	2						2		
	ア プ リ ケ ー シ ョ ン 演 習 A	2			2					
	ア プ リ ケ ー シ ョ ン 演 習 B	2			2					
	プ ロ グ ラ ム ィ ン グ 演 習	2				2				
	工 業 簿 記 A	2			2					
	工 業 簿 記 B	2			2					
	会 計 学 総 論	2				2				
	現 代 会 計 論	2					2			
	財 務 会 計 論 A	2				2				
	財 務 会 計 論 B	2					2			
	管 理 会 計 論	2					2			
	国 際 会 計 論	2					2			
	会 計 監 査 論	2						2		
	コ ン プ ュ ー タ 会 計	2						2		
	民 法	2					2			
	商 法	2					2			
会 社 法	2						2			
所 得 税 法	2					2				
消 費 税 法	2						2			
法 人 税 法	2						2			

(ファッションビジネスコース) 必修12 選択76以上 合計84以上
 (経営学コース) 必修4 選択必修4 選択76以上 合計84以上

区分	科目	単位	履修コース		卒業資格 最低単位数	週 時 間 数								備 考		
			経営学	ファッションビジネス		1年次		2年次		3年次		4年次				
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
専 門 教 育 科 目	地 域 産 業 論	2			(ファッションビジネスコース 必修4・選択必修4・選択76以上 合計84以上) (ファッションビジネスコース 必修12・選択76以上 合計84以上)					2						
	航 空 産 業 論	2								2						
	鉄 道 産 業 論	2										2				
	自動車産業経営論	2									2					
	ファッションビジネス論	2		○			2									
	現代ファッション論	2					2									
	特定産業研究A	2											2			
	特定産業研究B	2											2			
	経営学特殊講義A	2					2									
	経営学特殊講義B	2					2									
	経営学特殊講義C	2					2									
	経営学特殊講義D	2					2									
	会計学特殊講義A	2					2									
	会計学特殊講義B	2					2									
	会計学特殊講義C	2					2									
	会計学特殊講義D	2					2									
	ファッションビジネスの世界	2	-	○			2									
	被 服 織 維 学	2	-				2									
	織 維 学 実 験	1	-								2					
	色 彩 学	2	-				2									
	テキスタイル基礎科学	2	-				2									
	アパレル企画論	2	-	○					2							
	アパレル企画実習	1	-							2						
	アパレル設計論	2	-							2						
	アパレル設計実習	1	-								2					
	アパレルデザイン論	2	-	○						2						
	アパレルデザイン表現実習	1	-								2					
	被 服 整 理 学	2	-							2						
	被 服 整 理 学 実 験	1	-								2					
アパレル生産実習	1	-								2						
アパレルグラフィック実習	1	-						2								

区分	科目	単位	履修コース		卒業資格 最低単位数	週時間数				備考								
			経営学	ファッションビジネス		1年次		2年次			3年次		4年次					
						前期	後期	前期	後期		前期	後期	前期	後期				
専門教育科目 コース特設科目 ファッションビジネス	ファッション販売論	2	-						2									
	生活行動論	2	-									2						
	消費科学	2	-									2						
	消費者調査法	1	-												2			
	ファッションビジネス特殊講座A	2	-															
	ファッションビジネス特殊講座B	1	-															
	ファッションビジネス特殊講座C	1	-															
小計		208		84以上			48:24	36:38	38:30	2:2								
総合教育科目、専門教育科目合計		336		124以上			102:76	70:72	48:40	2:2								

注) 専門教育科目の履修要件

- イ 備考欄中の◎印は単位認定科目とし、3年次後期(冬期休業開始まで)までに申し出たものは、学科の判断に基づき、単位認定を受けることができる。
- ロ コース選択時期は、毎学年の2月末までに申請し、履修コースの変更は、3年次の2月末までとする。
なお、履修コースの変更は、ファッションビジネスコースから経営学コースへの変更に限り認めるものとする。
- ハ ファッションビジネスコースの者に限り、ファッションビジネスコース特設科目を履修することができる。
なお、ファッションビジネスコースの者で、履修コース変更前に修得したファッションビジネスコース特設科目の単位は、選択科目として卒業要件単位に算入することができる。

Chapter

02

STUDY PLAN-12B
編入生

01.履修ガイド	045
02.履修制限	046
03.卒業要件単位数(外国人留学生も共通)	047
04.ゼミナール科目	049
05.卒業見込証明書	049
06.カリキュラム	050

01. 履修ガイド

編入生は2年という短い期間で卒業要件単位数を修得することが求められています。時間割作成にあたって、3年次、4年次の計画を次のとおり立てることをお勧めします。

- a. まず3年次は、できるだけ多くの単位履修・取得を目指してください。そうすれば、4年次には講義数が少なくなり、就職活動や卒業論文作成などの時間を確保することができます。なお、1年間で履修可能な単位数は48単位です。
- b. 4年次は、3年次で取得した単位を除いた残りの卒業要件単位数をみたくことに重点をおき履修してください。その際、4年次卒業を確かなものにするために、4年前期で卒業要件単位数をできるだけ履修・取得しておくことがのぞましいです。また、卒業要件単位数にプラスして複数の科目を履修するとよいでしょう。

■ゼミナールの履修

- ・経営学科では、ゼミナールという科目（選択科目）を設けています。
- ・ゼミナールは各自が関心を持ち、より深く研究したいと思う専門分野について、指導教員やゼミ仲間とともに研究する科目です。少人数で構成されるため、講義科目に比べて発展的な研究を行ったり、親密な人間関係が形成できたりと、大学生活において有意義な科目のひとつです。
- ・編入生は、3年次より2年間、同一教員のゼミナールに所属することになります。
- ・ゼミナールの所属決定は、各自の志望理由や成績等を考慮した上で、担当教員が行います（4月初旬予定）。ゼミナールを志望する学生は、所定の方法・期限を守り申込みを行ってください。
- ・なお、経営学科のゼミナールは2年次より開講されています。編入生でゼミナール所属が決定した者は、指導教員が認めた場合に3年次のゼミナール（研究ゼミナール2）と2年次のゼミナール（研究ゼミナール1）を同時に履修することができます。

■専門教育科目の履修

- ・経営関連科目において、選択必修として特定の科目のうちから4単位を修得しなければなりません。それ以外の専門教育科目については、特に選択必修の制限はありません。
- ・興味のある分野から重点的に履修しても、多くの分野から科目を幅広く選択してもかまいませんが、卒業するためには卒業要件単位数をみたくする必要があります。

02. 履修制限

(1) 履修制限

12B編入生には以下の制限がありますので、注意してください。

12B編入生に適用

1年間に履修できる単位数	最大48単位 ただし、以下の科目は除きます。 ①「研究ゼミナール1」、「研究ゼミナール2」、「卒業論文ゼミナール」 ②「教員免許取得に係わる科目」のうち、「教科に関する科目」のうち「職業指導」ならびに「教職に関する科目」および「教科又は教職に関する科目」※
学年による科目の制限	3年次:1～3年次配当科目を履修することができます。 4年次:すべての開講科目を履修することができます。
科目履修上の制限	■研究ゼミナール1、2を同時に履修することができます。 ■卒業論文ゼミナールを履修するためには、研究ゼミナール2を修得していなければなりません。 ■研究ゼミナール1、2および卒業論文ゼミナールは、同一教員で履修しなければなりません。
必修科目	「経営学基礎」2単位、「会計学基礎」2単位の合計4単位を必修とします。
選択必修科目	経営関連科目群6科目から4単位を修得してください。4単位を超えて修得した単位は、選択科目の単位に入ります。
選択科目	選択科目は、54単位とします。 ①選択必修科目の4単位を超えて修得した単位は、選択科目の卒業要件単位に入ります。 ②自由科目制度により修得した単位は、12単位を上限として、卒業要件単位に組み入れることができます。

※詳しい科目については教職課程履修ガイドブックを参照してください。

注) 編入生は「表現力基礎演習」および「入門ゼミナール」は履修することができません。

(2) 未開講科目

カリキュラム表にある科目でも、本年度の時間割に載っていない科目については未開講となります。

03. 卒業要件単位数（外国人留学生も共通）

（1）卒業要件単位数

専門教育科目	必修科目	4単位	62単位	学士（経営学）
	選択必修科目	4単位		
	選択科目（自由科目12単位を含む。）	54単位		
2年以上在学				

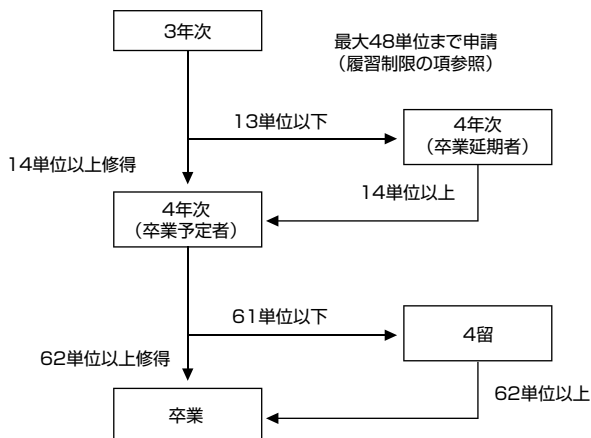
12
B

（2）進級の条件

修得単位数にかかわらず、4年次まで進級できますが、年間48単位（研究ゼミナール1・2、卒業論文ゼミナール、教職科目等を除く。）を上限とする履修制限がありますので、計画的に修学してください。

なお、進級するには、1年を通じて在学していなければなりません。

—進級および卒業までの流れ—



(3) 卒業要件単位の履修要件

① 必修科目

必修科目は、下記の表に示す2科目の合計4単位です。

区分	科目名	単位数
専門基礎科目	経営学基礎	2
	会計学基礎	2

② 選択必修科目

選択必修科目は、下記の表に示す通りです。合計4単位を修得しなければなりません。

ただし、4単位を超えて修得した単位は、選択科目として卒業要件単位の算入されます。

区分	科目名	単位数	備考
経営関連科目	経営管理論	各2	左記より4単位を修得してください。
	経営戦略論		
	経営組織論		
	マーケティング論		
	経営財務論		
	人的資源管理論		

③ 選択科目

選択科目は54単位となっています。

なお、選択必修科目の卒業要件単位数4単位を超えて修得した単位数は、選択科目の単位として算入されます。

また、自由科目制度で修得した単位は、12単位を上限として卒業要件単位の選択科目として算入されます。

04. ゼミナール科目

ゼミナールの所属決定は、各自の志望理由や成績等を考慮した上で、担当教員が行います。なお、編入生でゼミナール所属が決定した者は、指導教員が認めた場合に3年次のゼミナール（研究ゼミナール2）と2年次のゼミナール（研究ゼミナール1）を同時に履修することができます。

科目名	配当年次	必/選
研究ゼミナール1	2年次	選択
研究ゼミナール2	3年次	選択
卒業論文ゼミナール	4年次	選択

05. 卒業見込証明書

「卒業見込証明書」は、3年次修了時点で既に卒業要件単位を14単位以上修得し、4年次において履修申請した科目を全部または一部修得すれば卒業できる者に対して発行します（4月1日以降発行）。

※卒業見込証明書は、就職活動のため企業などに提出するものです。申請および発行は証明書自動発行機（本館1階、クリスタルテラス）を利用してください。

06. カリキュラム

専門教育科目

(○で囲んだ単位は必修科目・一印は履修できない科目)

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数				備 考			
				1年次	2年次	3年次	4年次				
				前 期	後 期	前 期	後 期		前 期	後 期	前 期
専 門 教 育 科 目	専門基礎 科目	経営学基礎 ②	4	2						全員履修	
		会計学基礎 ②		2							
	ゼミナール科目	入門ゼミナール	1								
		研究ゼミナール1	4		2	2					
		研究ゼミナール2	4				2	2			
		卒業論文ゼミナール	4						2		2
	ビジネススキル科目	初級簿記	4		2	2					
		商業簿記A	2		2						
		商業簿記B	2			2					
		販売管理A	4			4					
		販売管理B	4				4				
		ビジネス・コンピューティング	4		4						
		ビジネス・プロトコル	4		4						
	キャリアスキル科目	キャリア講座A	4	54		2	2				
		キャリア講座B	4			2	2				
		キャリアデザインA	2			2					
		キャリアデザインB	2					2			
		インターンシップ	2					2			
	経営関連科目	経営管理論	2	4		2					
		経営戦略論	2			2					
		経営組織論	2			2					
		マーケティング論	2				2				
		経営財務論	2					2			
		人的資源管理論	2						2		
生産管理論		2				2					
企業論		2					2				
組織行動論		2					2				
非営利組織の経営		2						2			
消費者行動論		2					2				

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数								備 考			
				1年次		2年次		3年次		4年次					
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
専 門 教 育 科 目	商品企画論	2	(54)					2						編入生全員履修	
	マーケティング戦略論	2					2								
	eコマース論	2						2							
	経営情報論	2						2							
	財務管理論	2							2						
	国際経営論	2				2									
	経営史	2			2										
	情報処理概論	2			2										
	経営科学	2				2									
	ビジネス統計	2					2								
	データ分析演習	2						2							
	市場調査演習	2							2						
	情報機器演習	2							2						
	アプリケーション演習A	2				2									
	アプリケーション演習B	2				2									
	プログラミング演習	2					2								
	工業簿記A	2				2									
	工業簿記B	2				2									
	会計学総論	2					2								
	現代会計論	2							2						
	財務会計論A	2					2								
	財務会計論B	2						2							
	管理会計論	2							2						
	国際会計論	2						2							
	会計監査論	2							2						
	コンピュータ会計	2								2					
	民法	2					2								
	商法	2						2							
会社法	2						2								
所得税法	2					2									
消費税法	2						2								
法人税法	2							2							

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数								備 考			
				1年次		2年次		3年次		4年次					
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
専 門 教 育 科 目	テ ー マ 別 研 究 科 目	地域産業論	2	(54)				2							
		航空産業論	2					2							
		鉄道産業論	2						2						
		自動車産業経営論	2					2							
		ファッションビジネス論	2			2									
		現代ファッション論	2			2									
		特定産業研究A	2						2						
		特定産業研究B	2						2						
		経営学特殊講義A	2			2									
		経営学特殊講義B	2			2									
		経営学特殊講義C	2			2									
		経営学特殊講義D	2			2									
		会計学特殊講義A	2			2									
		会計学特殊講義B	2			2									
		会計学特殊講義C	2			2									
会計学特殊講義D	2		2												
合 計			62												

注) 専門教育科目の履修要件

備考欄中の○印は単位認定科目とし、3年次後期(冬期休業開始まで)までに申し出たものは、学科の判断に基づき、単位認定を受けることができる。

※週時間数欄の数字は、2=週1コマ、4=週2コマの授業があることを示します。1年次は1年次の、2年次は1、2年次の、3年次は1、2、3年次の、4年次は1、2、3、4年次の欄に数字のある科目を履修することができます。ただし、履修制限等により履修できない場合もあります。